

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No1

事務事業名	地域活動支援事業	部課名	総務企画部総務企画課	課長名	片岡 孝
		担当者名	堀、森下	内線	2115
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（23年度）	地域活動支援事業（01-02-07）				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	18 年度	根拠法令等	荒川区地域活動支援事業補助金交付要綱	
終期設定	有 無	年度		地域活動専門相談員設置要綱 ハピネスサポートクラブ設置要綱	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	計画推進のために[ ]			
	政策	区民の主体的な区政参画と連携強化[13]			
	施策	区民参画・協働の推進[13-01]			
目的	1 区民や区内団体等の地域活動を支援し、区政参画の機会を拡大するとともに、区民や区内団体等との協働の促進を図る。 2 職を離れた団塊世代の方々が地域の活動や区政運営に積極的に参画し、地域の人的資源として活躍できるよう支援する。				
対象者等	区民団体、定年退職後の区民、地域活動に関心のある区民等				
内容	1 地域活動サロン「ふらっと・フラット」の運営補助 （運営）荒川区社会福祉協議会 （場所）生涯学習センター1階 （開所日）週4日（火・土）10：00～18：00 （水・金）13：00～21：00 （内容）・地域活動の拠点となるサロンの運営 ・地域活動に関する情報提供、相談、コーディネート 2 団塊世代活動支援コーナーの運営 （場所）本庁舎2階情報提供コーナー内 （内容）地域活動や就労等に関する相談・情報提供・庁内関係課及び関係機関の紹介 3 協働ガイドラインの作成 協働ガイドラインを作成し、地域活動に対する支援とともに、協働に関する職員の意識の醸成と協働事業の具体化を促進する。 4 ハピネスサポートクラブ（HSC）の活用 ・ハピネスサポーターの選定 ・ハピネスサポートクラブ会合				
経過	平成19年度	地域活動サロン「ふらっと・フラット」開設 団塊世代活動支援コーナー開設			
	平成20年度	南千住図書館における団塊世代の図書特集の開催（1～3月） 関係機関連絡会の開催（2回）			
	平成21年度	区報「地域活動特集号」の発行 関係機関連絡会の開催			
	平成22年度	協働ガイドラインの検討、HSC設立			
必要性	多様化する区民ニーズに的確に応える区政運営を行っていくためには、区民の区政参画の機会拡大はもとより、区民や区内団体等との協働の促進が不可欠である。また、団塊の世代をはじめ、区民の地域活動の支援は、地域の活性化につながることから、その必要性は高い。				
実施方法	（1直営） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） 1（ふらっと・フラット）社会福祉協議会に対する運営費補助 2（団塊世代活動支援コーナー）地域活動専門相談員による相談・情報提供				

		（単位：千円）							
予算・決算額等の推移		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
	予算額		2,043	17,291	10,283	11,240	13,859	11,491	
	決算額（23年度は見込み）		1,512	9,906	9,344	10,076	8,551	11,491	
	人件費等		6,661	3,501	4,135	3,258	5,232		
	減価償却費						1,743		
	【事務分担量】（%）			78	41	120	40	60	
	合計（+ +）		0	8,173	13,407	13,479	13,334	15,526	11,491
	国（特定財源）								
	都（特定財源）						5,328	5,277	
	その他（特定財源）								
一般財源		0	8,173	13,407	13,479	8,006	10,249	11,491	
実績の推移	事項名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
	荒川区地域活動支援事業補助金交付額	-	-	7,926	5,932	6,448	7,112		
	補助グループ数						3		

事務事業分析シート（平成23年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成21年度（決算）		平成22年度（決算）		平成23年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
		報償費	地域活動専門相談員報酬	3,046	地域活動専門相談員	1,905	地域活動専門相談員
需用費	区報特集号	583					
負担金補助	地域活動支援事業補助金	6,448	地域活動支援事業補助金	6,194	地域活動支援事業補助金	8,512	
			地域活動支援補助金	452			

指	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)	
標	ふらっと・フラットの利用者数（人）	1,907	2,032	2,113	2,160	2,500	1か月当たり180人を目標とする
	団塊世代活動支援コーナー利用者数（人）	123	63	77	85	100	平成21年度の4～5月は仕事・生活サポートデスクで対応

（問題点・課題）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふらっと・フラットで芽生えた地域活動の動きを単発で終わらすことなく、広げていく必要がある。</li> <li>・団塊世代活動支援コーナーでは就業相談が主体で、地域活動に関する相談は少ない状況にある。</li> <li>・協働の地域づくりを推進していくためには、区職員の協働に対する意識の醸成と認識の共通化を図る必要がある。</li> </ul>
	他区の実況 （実施区 未実施区）

問題点・課題の改善策検討		
	平成24年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
	ふらっと・フラットを拠点に活動する団体間の情報共有やネットワーク化の促進を図る。併せて、ふらっと・フラットの施設及び機能面での拡充を検討する。	地域活動の輪が広がるとともに、団体への参加や活動への参画の機会が拡大する。また、ふらっと・フラットが、今まで以上に幅広い層の区民が集う場となる。
	団塊世代が65歳に到達し、2度目の退職を迎える時期に合わせ、団塊世代活動支援コーナーでの支援内容の見直しを検討する。	就労相談への対応の強化など、団塊の世代が求める支援を適切に行っていくことが期待できる。
	協働ガイドラインを活用し、既存事業を含めて、区事業での協働の可能性等を再点検する。	協働の視点からの事業再点検により、協働に対する職員の意識が醸成されるとともに、協働による事業展開の促進が期待できる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
改善・見直し	推進	区民や区内団体等の協働は、これからの区政運営に不可欠であり、「団塊の世代を中心とした地域活動の促進」事業を統合し、区民の地域活動の支援や区政への参画及び協働の促進に関する取組みを整理した。

議 会 要 質 問 状 況	H17・三定	：市民活動基金の創設について
	H18・四定	：団塊の世代の受け皿づくりと区の役割について
	H19・二定	：団塊の世代を始めとする中高年の社会参加に向けた受け皿整備について
	H20・四定	：団塊世代の参画の推進について
	H22・一定(予特)	：シルバーパワーの活用について
	H22・二定	：新しい公共について

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No1

事務事業名	区功労者表彰	部課名	総務企画部秘書課	課長名	米澤貴幸
		担当者名	茂手木 栄一	内線	2005
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（23年度）	区功労者表彰（01-51-01）				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	35 年度	根拠	荒川区表彰規則	荒川区表彰要綱
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内 都基準内 区独自基準		計画区分	計画	非計画
行政評価事業体系	分野	計画推進のために[ ]			
	政策	区民の主体的な区政参画と連携強化[13]			
	施策	区民参画・協働の推進[13-01]			
目的	区の振興・発展に特に功労があった者の事績をたたえることにより、区民の福祉の増進に資することを目的とする。（荒川区表彰規則第1条） 区の振興・発展に特に功労があった者に対して、その功績をたたえ、区民の「ふるさと意識」を高めようとするもの				
対象者等	顕著な功績または模範として、推奨するにふさわしい業績もしくは善行のあった者 （平成17年度）172名（平成18年度）160名（平成19年度）160名（平成20年度）121名 （平成21年度）128名 前鴨川市長に特別感謝状（平成22年度）141名				
内容	1 平成22年度区功労実施内容[被表彰者数：141名（一般128名、活動7名、特別6名）] (1)日 時 平成22年11月25日 午前11時～（平成21年度は11月18日に実施） (2)場 所 ホテルラングウッド 2階 ラングウッドルーム 式典・祝宴 (3)招待者 特別来賓者 区議会正副議長・衆議院議員・都議会議員・区内官公署長等 一般来賓者 推薦者・区議会議員・行政委員等 (4)表彰式 表彰状、記念品の授与（東京藝術大学等による演奏あり） 記念品：竹製花かご（一般、活動）、銀製ピアグラスセット（特別功労） 2 平成22年度議員表彰実施内容[被表彰者数：5名（一般1名、特別4名）] (1)日 時 平成23年3月8日 午後3時～ (2)場 所 区長応接室 (3)招待者 なし (4)表彰式 表彰状、記念品の授与 記念品：竹製花かご（一般）、銀製ピアグラスセット（特別功労）				
経過	昭和60年度 表彰規則・要綱の一部改正（被表彰対象者の拡大） 平成3年度 表彰規則・要綱の一部改正（区議会議員表彰基準の改正により特別功労者表彰の実施） 平成6年度 表彰規則の一部改正（要綱の廃止、制定 分野別表彰実施） 平成9年度 会場をサンパールからセレス西日暮里に変更 平成12年度 表彰規則・要綱の一部改正（題名及び組織改正による表彰区分の改正） 平成14年度 表彰規則・要綱の一部改正（特別賞の新設及び組織改正による事務局名の改正） 平成17年度 表彰規則・要綱の一部改正（活動賞の新設及び組織改正による事務局名の改正） 荒川区民交響楽団による弦楽四重奏を実施 平成18年度 会場をセレス西日暮里からホテルラングウッドへ変更（セレス西日暮里がメモリアルホールとなったため）記念品を荒川ブランドの品物に変更 平成20年度 東京藝術大学による弦楽四重奏を実施				
必要性	区の振興・発展に特に功労があった者の実績をたたえ、区民の福祉を増進するため必要である。				
実施方法	（2一部委託）（直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） ホテルラングウッドに会場設営等一式を委託				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	
予算額	8,362	5,336	5,372	4,395	4,906	5,431	5,431	
決算額（23年度は見込み）	5,980	5,031	5,068	4,050	4,233	4,968	5,431	
人件費等	690	854	854	847	651	436		
減価償却費						145		
【事務分担当】（%）	8	10	10	10	8	5		
合計（+ +）	6,670	5,885	5,922	4,897	4,884	5,549	5,431	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	6,670	5,885	5,922	4,897	4,884	5,549	5,431	
実績の推移	事項名							
受賞者数	特別	4 12 5 67	4 3 0 48	10 7 0 63	7 4 1 29	7 2 - 36	6 5 - 54	
	学校	3 4 13 0	5 9 21 1	5 2 14 3	7 0 29 2	4 4 13 1	5 3 24 3	
	文化	12 4 6 4	13 6 5 3	25 2 5 3	12 3 1 4	9 2 5 4	5 13 2 3	
	善行	1 31 1 5	3 34 1 4	2 15 1 3	3 14 1 4	1 35 1 3	1 9 1 7	

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成21年度（決算）		平成22年度（決算）		平成23年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報償費	式典出演料一式	55	式典出演料一式	80	式典出演料一式	80
	需要費	記念品	2,372	記念品	2,972	記念品	3,226
				記念バッチ	53	記念バッチ	180
		丸筒等	21	丸筒等	32	丸筒等	50
		案内状等印刷	117	案内状等印刷	127	案内状等印刷	111
	役務費	表彰状等筆耕	180	表彰状等筆耕	217	表彰状等筆耕	280
	委託料	会場設営委託等	1,488	会場設営委託等	1,488	会場設営委託等	1,504

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)	

（問題点・課題 指標分析）	
他区の実況	（実施区 未実施区）

問題点・課題の改善策検討		
	平成24年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
	在職年数や年齢制限を設けず、推薦は各所管が行なう「活動賞」を平成17年度に新設したので、対象となる方々の把握に努める。	区への功績が多であるが団体に属していない個人や一般功労に該当していなかった方々を推薦・表彰することで、より一層、区民福祉の増進に資することが期待できる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	昭和35年から永年にわたって続けてきた制度であり、地域に広く定着しており、地域貢献等をなされている方々を表彰することにより、区として感謝と敬意を表するものである。また、区民の方々の自主的な地域活動等を進めるきっかけづくりとしても、続けることが必要である。

議会議況 （要旨）	
--------------	--

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No1

事務事業名	新年祝賀会	部課名	総務企画部秘書課	課長名	米澤貴幸
		担当者名	幸野 佳紀	内線	2004
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（23年度）	新年祝賀会（01-06-01）				
事務事業の種類	新規事業（23年度 22年度）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和	平成	不明	年度	根拠
終期設定	有	無	年度	法令等	
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	計画推進のために[ ]			
	政策	区民の主体的な区政参画と連携強化[13]			
	施策	区民参画・協働の推進[13-01]			
目的	年頭に当たり、日頃、荒川区の発展に寄与している各界・各層の代表者を招待し、区政への理解・協力を得ることを目的として開催する。				
対象者等	荒川区の発展に寄与している各界の代表者 平成19年度 招待者数 1,659人 来場者数 約750人 平成20年度 招待者数 1,633人 来場者数 約870人 平成21年度 招待者数 1,713人 来場者数 約800人 平成22年度 招待者数 1,798人 来場者数 約900人				
内容	(1)日時 毎年1月4日 11時～ (2)場所 ホテルラングウッド（ラングウッドルーム） (3)招待者 国・都・区議会議員、区内官公署長、行政委員、町会長、民生委員、保護司、その他の公共団体の長、区民栄誉賞受賞者、叙勲受章者、荒川区ゆかりの文化・スポーツ・芸能人等 (4)区制75周年事業 20年新年祝賀会では、荒川区シンボルマークの発表を行った。				
経過	区の発展に寄与していただいている各界の代表者を招待して実施している新年祝賀会への招待者数は、1,700名を超え（出席者は年750名～900名程度）、新年祝賀会の現状からすると、区内で対応できる会場はホテルラングウッドしかないことから、平成3年度から祝宴会場をサンパール荒川からホテルラングウッドに変更し、開催している。 平成17年度から東京荒川少年少女合唱隊による合唱および荒川区民交響楽団による弦楽四重奏を行い、平成20年度からは東京荒川少年少女合唱隊による合唱および東京藝術大学による弦楽四重奏を行うこととし、各界の代表が一堂に会する少ない機会を活かし、区内における文化活動をアピールする場を提供するという、従来の賀詞交換に加え新たな試みを実施した。				
必要性	荒川区の発展に寄与している各界・各層の代表者の区政への理解・協力を求めるために必要である。				
実施方法	( 2一部委託 ) ( 直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員 ) ホテルラングウッドに会場設営等一式を委託				

		（単位：千円）						
予算・決算額等の推移		17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	予算額		2,936	3,260	3,104	3,325	3,325	3,306
決算額（23年度は見込み）		2,894	2,897	2,991	3,227	3,230	3,267	3,306
人件費		431	427	427	427	407	436	
減価償却費							145	
【事務分担当】（%）		5	5	5	5	5	5	
合計（+ +）		3,325	3,324	3,418	3,654	3,637	3,848	3,306
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源		3,325	3,324	3,418	3,654	3,637	3,848	3,306
実績の推移	事項名	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
	来場者数（人）	650	660	750	870	800	900	
	招待者数（人）	1,624	1,638	1,659	1,633	1,713	1,798	
	出席率（%）（÷ × 100）	40.0	40.3	45.2	53.3	46.7	50.1	

# 事務事業分析シート（平成23年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成21年度（決算）		平成22年度（決算）		平成23年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	報償費	手話通訳・出演者謝礼	80	手話通訳・出演者謝礼	117	手話通訳・出演者謝礼	131
一般需用費	新年祝賀会案内状	55	新年祝賀会案内状	55	新年祝賀会案内状	63	
委託料	祝賀会会場設営委託	3,095	祝賀会会場設営委託	3,095	祝賀会会場設営委託	3,112	

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		20年度	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)	
標	出席率（23年度は見込み）	53%	47%	50%	50%	50%	

（問題点・課題分析）	
他区の実況	（実施 22 区 未実施 区） 会費制実施（江東区、板橋区、足立区、新宿区、練馬区、豊島区、墨田区）

問題点・課題の改善策検討	
平成24年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	荒川区の発展に寄与していただいている各界・各層の代表者の区政への理解・協力を得るために必要である。

議（要質問状）	
---------	--